

# 令和7年度 旭中学校 学校評価書

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### 《基本目標》

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる力を培い、広く世界を見つめながら、進んで社会の発展に貢献できる人間を育成する。

### 《目指す生徒像》

- ・健康でやる気のある生徒（健康な体と気力）
- ・自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
- ・心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）

### 《生徒の指標》

「世界の旭中学校 私がそれを代表する」

1. 私たちは、心をこめてあいさつします。
2. 私たちは、時間を守り、自ら学習に励みます。
3. 私たちは、他人の気持ちを尊重し、助け合います。
4. 私たちは、進んで働きます。
5. 私たちは、社会のルールを守り、自信をもって生き抜きます。

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「これからの社会に生きる人を育てる」という崇高な営みに携わる公立中学校として、  
また、多くの卒業生を輩出し、地域から愛される伝統ある旭中学校として、信頼される学校をめざす。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 【個人の尊重】「一人一人の生徒、スタッフはかけがえのない存在」との考えに基づいて学校経営を推進する。
- (2) 【調和のとれた教育課程】急激な変化や様々な困難に直面することが予測されるこれからの社会を生き抜く人間を育むため、これまでの教育課程の特長を踏まえつつ新たな教育課題に対応した、知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成、実施する。
- (3) 【信頼される学校】「凡事徹底」により信頼される学校をめざす。特に安全・安心に関わる「当たり前」の徹底を図る。
- (4) 【地域とともにある学校】保護者や地域との円滑なコミュニケーションを基盤に、地域とともにある学校づくりを推進する。
- (5) 【職場改善と職員のウェルビーイングの向上】「働きやすい職場、働き甲斐のある職場」を実現し、職員のウェルビーイングとチームワークを高める。
- (6) 【業務の重点化】マンパワー、予算、時間などの「資源」の有限性に着目し、取組を重点化する。その際、「ゴール」を明確にして職員と共有する。

### 《本市の重点施策・事業との関連》

- (1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）
  - ① 基本的考え：家庭、地域、企業等とのつながりを深め、地域との協議を学校経営に反映させながら学校づくりを進め、地域から信頼される学校をめざす。
  - ② 主な取組：「地域未来会議」の開催 ・「SDGs 宮つ子まちづくりプロジェクト」のモデル校実践  
・地域協議会主催の地区懇談会における、防災教育の取組に関わる基盤固め（災害時に貢献できる中学生を地域で育成する取組）・地域行事や地域ボランティアへの生徒の積極的な参加 ・休日の部活動の地域移行・連携（展開）の推進
- (2) 小中一貫教育・地域学校園
  - ① 基本的考え：義務教育9年間を通じた系統的な指導と地域の教育資源を活用した特色ある教育活動により、生徒の学力保障と学校生活適応を目指す。また、教職員の相互理解を一層深めることにより教育活動の充実を図る。
  - ② 主な取組：・校長会議、運営会議、各部会の活動の推進による地域学校園の取組充実  
・あいさつ運動の実施（小学校、PTA、地域との連携） ・特別支援学級交流会の実施  
・小学校6年生の進学先中学校訪問の実施 ・小学校との教育計画の共有と情報交換の推進 など
- (3) 不登校対策
  - ① 基本的考え：不登校生徒が多い現状から、不登校対策が本校の重点課題の一つであることを全職員で共有し、未然防止と早期対応に重点を置く。早期対応においては、組織的な対応を図り、家庭との連携はもとより必要に応じて関係機関等との連携・協力を推進する。
  - ② 主な取組：・認め励ます教育の推進と共感的な人間関係の育成  
・小学校との情報交換やWE B Q Uを生かした学級経営と教育相談の充実  
・校内教育支援センターの効果的な活用  
・S C、校内教育支援センター支援員、関係機関等との連携強化
- (4) G I G Aスクール構想
  - ① 基本的考え：市のG I G Aスクール構想のステップ2の目標「教科の学びを深め、学びの本質に迫る」に基づき、生徒が自らの課題を解決する道具として主体的に活用することができるよう指導・支援にあたる。また、校務のD Xを推進する。
  - ② 主な取組：・各教科における「主体的・対話的で深い学び」を実現するための活用  
・生徒会活動等における生徒の主体的な活用  
・デジタルシティズンシップ学習の充実 ・総合型校務支援ソフト「ミライム」などの積極活用

(5) 宇都宮学

- ① 基本的考え：郷土・宇都宮について理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにするため、総合的な学習の時間において副読本を活用した学習を中心に「宇都宮学」を推進する。
- ② 主な取組：
  - ・副読本を活用した総合的な学習の時間における探究的な学習
  - ・総合文化センターで実施する文化祭での探究学習の成果発表
  - ・学校図書館における宇都宮学コーナーの設置

4 教育課程編成の方針

3 学校経営方針(2) に書いた通り。その際、地域の教育資源等を生かし、体験を通して学ぶ機会の確保に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 【個人の尊重】に関して
  - ア それぞれの生徒のニーズを把握して教育活動を工夫するとともに「認め励ます教育」を展開し、相談学級や日本語指導を含め、本校が担う多様な教育機能を果たす。
  - イ 共生社会の構成者として必要な資質・能力を育む。
- (2) 【調和のとれた教育課程】に関して
  - ウ 「旭中学校生徒の誓い」を生徒に日々の生活で意識させ、実践と振り返りの往還により社会に生きる人間としての人格の陶冶をめざす。
  - エ 特に主体的に学習に取り組む態度に着目し、「宇都宮モデル」を活用した授業改善に取り組む。
  - オ デジタルシチズンシップ教育、共生社会の構成者として必要な資質・能力を育む教育、防災教育の一層の充実を図る。
- (3) 【信頼される学校】に関して
  - カ いじめの未然防止や早期対応等に関わる取組と不登校対策の一層の充実を図る。
  - キ 安全点検など施設管理の徹底を図る。
- (4) 【地域とともにある学校】に関して
  - ク 生徒のボランティア活動など地域の教育資源を活用した教育活動を推進する。
  - ケ 地域、隣接校と協働し、休日の部活動の地域移行・地域連携を推進する。
- (5) 【職場改善と職員のウェルビーイングの向上】
  - コ 業務負担の軽減や資質向上を実感できる取組などにより職員のウェルビーイングの向上を図る。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

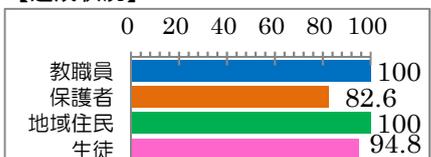
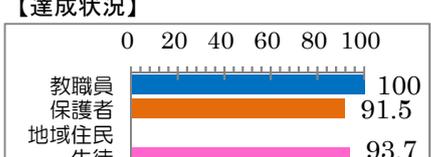
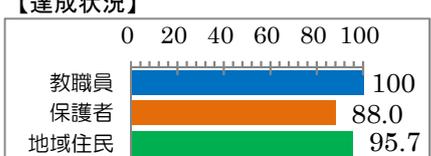
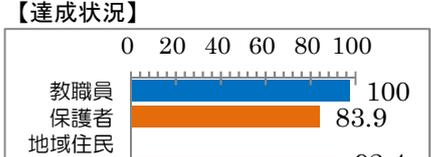
※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所に下線を付ける。

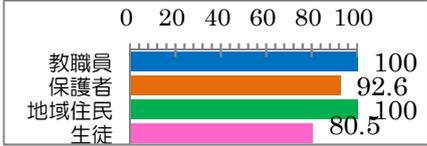
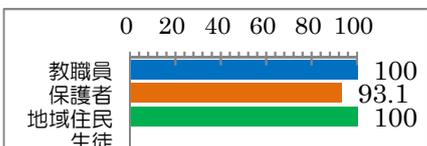
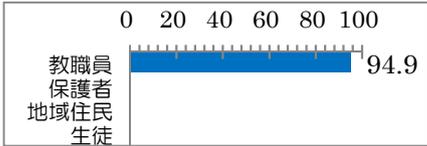
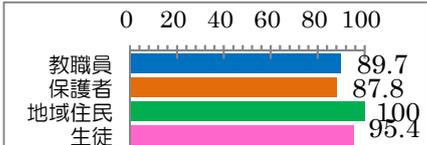
| 第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策 | 評価項目                                                                           | 主な具体的な取組                                                                                                       | 方向性 | 評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |      |     |      |      |      |    |      |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------|-----|------|------|------|----|------|
| 1- (1) 確かな学力を育む教育の推進    | A1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。<br><br>【数値指標】<br>生徒肯定的回答 85% | ① 授業においてタブレット型パソコンを活用した情報の収集や他者との情報交換を通して自分の考えを深め、自らの課題を設定する力を育む。<br>② 設定した学習課題の解決に向けて、学びを深める態度を育成する。          | B   | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>94.9</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>80.7</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>91.1</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>91.1</td></tr> </table> <p>・生徒は 6.1p 数値目標を上回り、達成できた。市の平均よりも 0.2p 高かった。<br/>・自ら設定した課題解決に向けたタブレットの活用や他者との情報交換を行う姿が常態として見られる。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・探求学習等を進める中で、自ら課題を設定し解決付ける能力を高める。</p> | 教職員 | 94.9 | 保護者 | 80.7 | 地域住民 | 91.1 | 生徒 | 91.1 |
| 教職員                     | 94.9                                                                           |                                                                                                                |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 保護者                     | 80.7                                                                           |                                                                                                                |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 地域住民                    | 91.1                                                                           |                                                                                                                |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 生徒                      | 91.1                                                                           |                                                                                                                |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 1- (2) 豊かな心を育む教育の推進     | A2 生徒は、思いやりの心をもっている。<br><br>【数値指標】<br>生徒肯定的回答 85%<br>教職員肯定的回答 85%              | ① 授業や学校行事を通して多様な価値観を学び、学校、学級の一員としての自覚を高め、自分の役割を果たす実践力を高める。<br>② 道徳の授業を通し、いじめ問題について考え、いじめをなくす取り組みを自分ごととして考えさせる。 | B   | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>97.4</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>90.5</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>90.9</td></tr> </table> <p>・生徒 5.9p, 教職員 5.5p 数値目標を上回り、達成できた。市の平均よりも生徒</p>                                                                                                            | 教職員 | 97.4 | 保護者 | 90.5 | 地域住民 | 100  | 生徒 | 90.9 |
| 教職員                     | 97.4                                                                           |                                                                                                                |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 保護者                     | 90.5                                                                           |                                                                                                                |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 地域住民                    | 100                                                                            |                                                                                                                |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 生徒                      | 90.9                                                                           |                                                                                                                |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |      |     |      |      |      |    |      |

|                                       |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------|-----|------|------|------|----|------|
|                                       |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                  | <p>2.3p 低く、教職員 4.6p 高かった、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に積極的に取り組む生徒が多く、学校や学級への帰属感と自己有用感が高い生徒も多い</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、学校行事等を通してリーダーの育成を図ると共に、学級活動、道徳において他者への共感的理解や自己有用感を深める授業設定を意図的に行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                         |     |      |     |      |      |      |    |      |
|                                       | <p>A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 85%</p> <p>教職員肯定的回答 90%</p> <p>保護者肯定的回答 85%</p> | <p>① 定期テスト毎に学習計画と反省を書かせ、自分の目標と到達度を視覚化することを通して、粘り強く取り組む態度を育てる。</p> <p>② 生徒が前向きな目標を立てられるように、適切な進路指導や丁寧な教育相談を行うとともに、生徒の努力を認め、励ます。</p>                                               | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>89.7</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>83.6</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>84.2</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>84.2</td></tr> </table> <p>・生徒は 0.8p、教職員 0.3p、保護者 1.4p、それぞれ数値目標を下回った。また、市の平均よりも生徒 1p 低く、教職員は 1.6p 高かった、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①②の取組を十分満足できる程度に実施したと教職員は考えている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、生徒の実態に応じて、粘り強く取り組める支援、自己指導能力の育成を計画し実施していく。</li> </ul>                | 教職員 | 89.7 | 保護者 | 83.6 | 地域住民 | 84.2 | 生徒 | 84.2 |
| 教職員                                   | 89.7                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 保護者                                   | 83.6                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 地域住民                                  | 84.2                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 生徒                                    | 84.2                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進         | <p>A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 90%</p>                                                 | <p>① 定期健康診断を実施し、結果を通知することで、自身の健康に関心をもたせる。</p> <p>② 避難訓練を実施し、自らの命を守り抜くための行動力を身に付けさせる。</p>                                                                                         | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>92.3</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>89.6</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>89.6</td></tr> </table> <p>・生徒 0.4p 数値目標を下回り、達成できなかった。市平均より生徒 0.5p 低かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者の数値からも、健康や安全について意識の低下がうかがえる。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の健康課題を理解させる。</li> <li>・生活リズムを整えさせる。</li> </ul>                                                       | 教職員 | 92.3 | 保護者 | 89.6 | 地域住民 | 100  | 生徒 | 89.6 |
| 教職員                                   | 92.3                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 保護者                                   | 89.6                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 地域住民                                  | 100                                                                                                                |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 生徒                                    | 89.6                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進           | <p>A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 90%</p> <p>教職員肯定的回答 90%</p>              | <p>① キャリア教育アンケートやキャリア・パスポートを活用して自己の基礎的・汎用的能力のうち、伸ばしたい力やそのための課題を明確にして、自身の成長を確認できるようにする。</p> <p>② 道徳、学級活動、総合的な学習の時間の中で、自己や自分の将来について深く考えることを通して、夢や目標を見つけ、その実現に向けて努力する力を身に付けさせる。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>94.9</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>85.5</td></tr> </table> <p>・生徒 4.5p、数値目標を下回った。また、市平均より生徒 4p 低かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育をとおして生徒自身の課題や、成長を意識する姿がうかがえたが、更なる工夫をしていく。1年生では、「職業人に学ぶ」を行わず、11月に南極観測隊員の講話を全体で実施した。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢講座の企画を推進していき、生徒が自分の将来について深く考えられるように実施していく。</li> </ul> | 教職員 | 94.9 | 保護者 | 85.5 | 地域住民 | 85.5 | 生徒 | 85.5 |
| 教職員                                   | 94.9                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 保護者                                   | 85.5                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 地域住民                                  | 85.5                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 生徒                                    | 85.5                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進 | <p>A 6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 80%</p>                                               | <p>① タブレットを活用し、伝えたい事柄について情報を収集したり、表現を調べたりし、それらを他者とのやり取りや発表に生かす態度を養う。</p> <p>② 関心のある事柄や日常的・社会的な話題について、やり取りさせたり、発表させたり、書かせたりする。</p>                                                | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>94.9</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>78.5</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>78.5</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>78.5</td></tr> </table> <p>・生徒 1.5p 数値目標を下回った。市平均より 3.7p 高かった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                               | 教職員 | 94.9 | 保護者 | 78.5 | 地域住民 | 78.5 | 生徒 | 78.5 |
| 教職員                                   | 94.9                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 保護者                                   | 78.5                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 地域住民                                  | 78.5                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |
| 生徒                                    | 78.5                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |      |     |      |      |      |    |      |

|                                                             |                                                                                  |                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                             |                                                                                  |                                                                                                                                                          | <p>・英語の授業の中では、活発に英語でコミュニケーションをとっているが日常の活動に生かせていない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、一人一台端末の活用の工夫や授業ではスモールトーク等を行い、社会的な話題について日常英語でのコミュニケーションを図る場を設定する。</p>                                                                                    |
|                                                             | <p>A 7 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 85%</p>                     | <p>① 地域ボランティアへの参加や総合的な学習の時間(宇都宮学)の活動等から宇都宮の良さを多く体験できるように工夫する。</p> <p>② 地域で体験したことや地域について学習したことを発信できるように工夫する。</p>                                          | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 0.8p 数値目標を下回り達成できなかった。また、市平均よりも 0.6p 低かった。</p> <p>・社会体験学習や宇都宮学で地域調査を行い、成果を他学年に共有した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・地域ボランティアの参加や宇都宮学の活動等を継続する。また、その内容を共有する機会を設ける。</p>                                                      |
| 2- (2)<br>情報社会と<br>科学技術の<br>進展に対応<br>した教育の<br>推進            | <p>A 8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%</p>               | <p>① 生徒用タブレット型ノートPC等を積極的に用いて調べ学習を行い、課題をまとめ、発表することで理解を深める。</p> <p>② 年鑑や統計・専門など、様々な図書を利用した調べ方を理解し、目的に応じた適切な参考図書を選び、有効に活用させる。</p>                           | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 8.0p 数値目標を下回った。市平均より 5p 高かった。</p> <p>・調べ学習やその発表、自主的な学習、生徒会の活動等にデジタル機器を活用する生徒が多い。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、タブレットによる検索と紙等の資料のそれぞれの特性を指導するとともに活用を工夫させる。資料センターとしての図書室の活用を図る。</p>                                   |
| 2- (3)<br>持続可能な<br>社会の実現<br>に向けた担<br>い手を育む<br>教育の推進         | <p>A 9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 80%</p>             | <p>① 各教科の学習や総合的な学習の時間の中で、「持続可能な社会」について学ぶ機会を活用し、自己を取り巻く環境について考えることで、「持続可能な社会」に対する理解を深める。</p> <p>② 地域のボランティア活動の機会を増やしながら、校内でもごみの分別等を推進し、環境を大切にすることを養う。</p> | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 1.9p 数値目標を下回った。また、市平均より 4.4p 低かった。</p> <p>・ボランティア活動の再開、授業での保育園訪問実施など「持続可能な社会」について生徒が意識する機会がとて増えた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、ボランティア活動と「持続可能な社会」の関連を意識づける声かけを行う。また、総合的な学習の時間の授業等で更に「持続可能な社会」について考える機会を増やしていく。</p> |
| 3- (1)<br>インクルー<br>シブ教育シ<br>ステムの充<br>実に向けた<br>特別支援教<br>育の推進 | <p>A 10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】<br/>教職員肯定的回答 90%</p> | <p>① 教育相談部会、特別支援部会、特別支援教育校内支援委員会において情報交換をしっかりと行くと共に、報・連・相を確実にしながら素早く対応する。</p>                                                                            | <p>【達成状況】</p> <p>・教職員 10p 数値目標を上回り、達成で</p>                                                                                                                                                                                              |

|                             |                                                                                                         |                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                             |                                                                                                         |                                                                                                                                                                               | きた。市平均より1.9P上回った。<br>・情報交換を定期的に行い、連携を図りながら適切に支援できた。<br>【次年度の方針】<br>・日常でも気づいたことを周りに話ができる雰囲気を整える。<br>・困り感を持ったら、誰かに相談する。                                                                                                                                                                                              |
| 3- (2)<br>いじめ・不登校対策の充実      | A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。<br><br>【数値指標】<br>生徒肯定的回答 95%<br>教職員肯定的回答 100%<br>保護者肯定的回答 85%         | ① 道徳や学活を軸にし、心の教育を重視し、いじめの未然防止の取り組みの充実を図るとともに、HPや各種便り、学級懇談を通して、取り組みを保護者や地域社会に積極的に発信する。<br>② 教育相談の内容やQUの結果などを十分に活用し、いじめの早期発見・早期対応、未然防止を行うとともに、保護者や生徒との信頼関係を築いていけるよう、適切な対応を心掛ける。 | B<br>【達成状況】<br><br>・生徒0.2p, 保護者2.4p 数値目標を下回った。教職員は数値目標を達成できた。また、市平均より生徒1.1p低く、教職員4.1p・保護者2.5p高かった。<br>・①②の取組を十分満足できる程度に実施したと教職員は考えている。取組内容が適切に反映されている。<br>【次年度の方針】<br>・学年懇談や学級懇談会、各種便り等で学校での取り組みを詳細に積極的に発信していく。                 |
|                             | A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。<br><br>【数値指標】<br>保護者肯定的回答 80%<br>教職員肯定的回答 90%                              | ① 教育相談や三者面談等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決を目指す。<br>② 心配な生徒に教職員がチームで対応することで、学校とのつながりを維持し、不登校を生まない環境作りを推進する。                                                            | B<br>【達成状況】<br><br>・保護者11.5p, 教職員10p, それぞれ数値目標上回り、達成できた。市平均より保護者2.7p, 教職員2p高かった。<br>・情報交換をしながら、チームで対応することができた。校内支援センター（レインボー教室）の環境が整い、終日開設できた。<br>【次年度の方針】<br>・生徒の様子を常に観察し、変化に気づいたら、周りの職員と情報を共有する。                             |
| 3- (3)<br>外国人児童生徒等への適応支援の充実 | A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。<br><br>【数値指標】<br>生徒肯定的回答 90%<br>教職員肯定的回答 95%<br>保護者肯定的回答 95% | ① 様々な立場の教職員が連携をとりながら、生徒ひとりひとりの実態に即した指導・支援計画を立て実践する。<br>② 学校行事や学級活動、生徒会活動において、生徒が主体的に活動に取り組むことができる機会を充実させ、認め励まし、生徒の自己有用感を育てる。                                                  | B<br>【達成状況】<br><br>・生徒5p, 教職員5p 数値目標を上回り、達成できたが、保護者は7p 数値目標を下回り、達成できなかった。また、市平均より生徒0.7p低かった。<br>・①②の取組を十分満足できる程度に実施したと教職員は考えている。<br>【次年度の方針】<br>・引き続き、数値目標の再設定と、生徒が大切にされ、活気がある雰囲気の向上を目指した取組及び生徒・保護者に対して、目的や成果の周知等を充実させる必要がある。 |
| 3- (4)<br>多様な教育的ニーズへの対応の強化  |                                                                                                         |                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 4- (1)<br>教職員の資質・能力の向上      | A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。<br><br>【数値指標】                                                  | ① 学習課題の提示、習得・活用・探求の時間を確保し、生徒による振り返りと教師によるまとめを明確にした授業を展開する。<br>② 知識・技能を活用して考えさせたり、自分の考えを表現させたりし                                                                                | B<br>【達成状況】<br>                                                                                                                                                                                                               |

|                           |                                                                                               |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                           | 生徒肯定的回答 85%                                                                                   | て、思考力・判断力・表現力等を育成する。                                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒 7.4p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より教職員 1.4p 高かった。</li> <li>・目標に対する評価規準、基準の達成度をみる評価基準の設定の深化を図る。</li> <li>・振り返りの記述の評価基準を明確にする。</li> </ul> <b>【次年度の方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを丁寧に行い、自分のことばで表現できるようにする。教職員は、記述による内容の評価方法等についての見識を深め、基準を統一する。</li> </ul>                                              |
| 4-(2)<br>チーム力の向上          | <p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p><b>【数値指標】</b><br/>教職員肯定的回答 90%</p>            | <p>① 学校経営のテーマや、スローガンを学年フロアへ掲示したり、印刷物の中に記載したりすることで、全職員がより意識を高めて、業務を進められるようにする。</p> <p>② 行事の計画を早くから検討し、共通理解を図り、全職員で同じ方向性で進められるようにする。</p>                                             | <p><b>【達成状況】</b></p> <p>・教職員 4.9p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より教職員 1.7p 高かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大部分の職員が指標を意識して業務に取り組んだ。</li> </ul> <b>【次年度の方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、スローガンを目に留まる場所に掲示し、職員が意識しながら教育活動に生かす努力をする。</li> <li>・行事計画の精選を図り、全職員で共通理解を図り、取り組む。</li> </ul>                                                |
| 4-(3)<br>学校における働き方改革の推進   | <p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p><b>【数値指標】</b><br/>教職員肯定的回答 80%</p>                    | <p>① チーム学校として、SC、SSW、かがやきルーム指導員等と連携、協力して役割分担を図り、効果的な手立てを講じる。</p> <p>② リフレッシュデーを活用し、勤務時間内に業務を終わらせるよう効率に行う意識を高める。</p> <p>③ タブレットやパソコンを利用した情報共有や生徒への問題提示等、紙印刷の手間を省くことで教員の業務縮減を行う。</p> | <p><b>【達成状況】</b></p> <p>・教職員 0.5p 数値目標を下回り、達成できなかった。市平均より教職員 2.5p 低かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日の設定や教育相談・三者懇談後に情報の入力と情報共有ができる日課は、今年も有効に活用できた。</li> </ul> <b>【次年度の方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日を設定する。</li> <li>・勤務時間内に業務を終了する意識を高める。</li> <li>・時間外電話設定を確実行う。</li> <li>・引き続き業務精選を行う。</li> </ul>              |
| 5-(1)<br>全市的な学校運営・教育活動の充実 | <p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p><b>【数値指標】</b><br/>生徒肯定的回答 80%<br/>教職員肯定的回答 80%</p> | <p>① 地域学校園あいさつ運動の充実や行事等における小中の連携、中学生によるボランティア活動の充実を図る。</p> <p>② 各学校の課題を明らかにし、オンライン会議を活用して地域学校園各部会の取組を充実させる(学力向上部会・特色ある学校づくり推進部会・連携部会・学校園事務室)</p>                                   | <p><b>【達成状況】</b></p> <p>・生徒 3.5p、教職員 14.9p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より生徒 0.6p・教職員 4.3p 高かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携してのボランティア活動やあいさつ運動は充実している。</li> <li>・オンライン会議で効率的に連携を図ることができた。</li> </ul> <b>【次年度の方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン会議や対面を併用した、ハイブリット会議を効率的に行うことを継続する。</li> <li>・会議の数を減らし、組織をシンプルに再編成する。</li> </ul> |

|                                                                    |                                                                                                            |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p> | <p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】<br/>保護者肯定的回答 80%</p>                        | <p>① 保護者会、三者懇談、各種たより等を活用し、保護者との連携を図る。</p> <p>② 社会人の方からの講演やボランティア活動を通してより良い生徒の育成を行う。PTA との連携を深め、学校運営の充実を図る。</p> <p>③ 社会体験学習や宇都宮学の学習等において地域の方々や企業との連携を図る。</p> | <p>【達成状況】</p>  <p>・保護者 0.5p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より保護者 3.3p 高かった。</p> <p>・保護者会やオープンスクールなどで、制限なしで授業を公開することができた。</p> <p>・土曜授業の講演会『南極クラス』に保護者も大勢参加した。</p> <p>・社会体験学習で、地域企業等の協力を得て、充実した活動ができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・保護者や地域との連携を更に高めて取組みを継続する。</p> <p>・社会体験学習や宇都宮学の学習等に、地域の方々や企業との連携を生かす。</p> |
| <p>6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>                                      | <p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】<br/>保護者肯定的回答 85%<br/>地域住民肯定的回答 85%<br/>教職員肯定的回答 90%</p> | <p>① 毎月1回、校舎内、運動場等校地の安全点検を計画的、組織的に実施する。</p> <p>② 学校行事の前後や災害時発生時等、必要がある時は、臨時に安全点検を実施する。</p>                                                                  | <p>【達成状況】</p>  <p>・保護者 8.1p、地域住民 15p、教職員 10p それぞれ数値目標を上回り、達成できた。市平均より保護者 2.2p、地域住民 3p、教職員 2.8p 高かった。</p> <p>・日常点検を適切に行い、環境づくりに努めた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・日常的に整理整頓を実施し、異変に気づいたら速やかに報告する。</p>                                                                                            |
| <p>6- (2) 学校のデジタル化推進</p>                                           | <p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】<br/>教職員肯定的回答 90%</p>           | <p>① 生徒・教職員がいつでもデジタル機器を利用できるよう、貸出環境を整える。</p> <p>② 具体的な使用例を共有して、効果的な授業実践ができるようにする。</p>                                                                       | <p>【達成状況】</p>  <p>・教職員 4.9p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より 0.1p 高かった。</p> <p>・常時、生徒・教職員がデジタル機器を利用できる環境が整っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、授業等での使用法・使用例の共有を図る。</p>                                                                                                                               |
| <p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>                                      | <p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>教職員肯定的回答 90%<br/>地域住民肯定的回答 95%</p>           | <p>① あいさつ運動を継続し運動部とも連携して行う。あいさつの意義を生徒に伝えることを通して、校内で会う友人、先輩後輩、先生、来校者など、相手に応じたあいさつができるようにする。</p> <p>② 授業や給食は部活を通して、所作を含め指導し、あいさつの習慣化を図る。</p>                  | <p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 5.4p 数値目標を上回り、達成できた。しかし、教職員 0.3p 数値目標を下回り達成できなかった。また、市平均より生徒 1.3p、教職員 0.2p 低かった。地域住民 3.6p 高かった。</p> <p>・日常のあいさつが非常に活発になっているが、時と場に応じたあいさつにない場合がある。</p> <p>【次年度の方針】</p>                                                                                            |

|                        |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                        |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>・引き続き、授業・給食など学校生活全般で時と場に応じたあいさつができるように活動を継続していく。</p>                                                                                                                                                                                                                        |
|                        | <p>B 2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>教職員肯定的回答 90%<br/>保護者肯定的回答 90%</p>  | <p>① 教職員が生徒の模範となるようきまりやマナーを守ることを率先垂範することにより、教育活動全般においてきまりを守る姿勢を育てる。</p> <p>② 交通安全教室等の取組や、生徒同士で指摘し合えるよう指導していくことで、命の重さ、ルール・マナーを守ることの重要性を認識させたうえで行動する態度を育成する。</p>                                                                                              | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 4.1p, 保護者 0.8p, 教職員 2.3p 数値目標を上回り、達成できた。また、市平均より保護者 0.6p・教職員 4.9p 高く、生徒 1.5p 低かった。</p> <p>・教職員が率先垂範したことで、きまりを守る姿勢が昨年以上に見られた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、アンケートや振り返りも活用しながら、日常的に規範意識を高められるような指導をしていく。</p>                                                 |
|                        | <p>B 3 教職員は、生徒が自主的な学習を進めることができるように、学習の進め方を指導している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>教職員肯定的回答 95%</p> | <p>① 自主学習の仕方や定期テストに向けた具体的な対策を、各教科の授業や学年集会等で説明し、学習の手引きを活用して効果的な学習の仕方を指導する。</p> <p>② 火曜日と木曜日の朝の読書の 10 分間にタブレット型 PC を活用した学習活動を取り入れ、家庭での活用を見据えて生徒が自主的に取り組めるよう、学習の進め方を指導する。</p>                                                                                  | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 1.3p 数値目標を上回り、教職員も 100p で、達成できた。</p> <p>・生徒は自主学習ノート、AI ドリルに取り組んでいるが、個人差も大きくみられた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・自主学習ノート、朝の学習時間の確保を継続する。学習の進め方を指導・助言する。</p>                                                                                                       |
| 小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等 | <p>B 4 教職員は、生徒同士が互いに認め合える環境作りをしている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>保護者肯定的回答 85%</p>               | <p>① 行事等の振り返りワークシートの中に他の生徒の取組を認める項目を設ける等の工夫をするとともに、各種便り、HP 等で学校の取組を保護者に積極的に発信していく。</p> <p>② 道徳の授業をはじめとする学習活動の中にグループ活動を取り入れるなど互いの意見を交わす場を設定し、タブレットのアプリ等も活用することで他者の考えに触れさせ、その考えを共有し、尊重し合える場を設定する。</p> <p>③ エンカウンターやインクルーシブ教育を各学年の学級活動等に位置付け、学級や集団作りに役立てる。</p> | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 2.8p, 保護者 0.7p 数値目標を上回り、達成できた。</p> <p>・各種便り、HP 等で学校の取組を保護者に積極的に発信した。</p> <p>・学期初めに、エンカウンターを取り入れ、認め合える場を積極的に設定した。</p> <p>・インクルーシブの授業を行い、理解を深めることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・エンカウンターを計画的に位置付け、各種便り、HP 等で学校の取組を継続して発信していく。</p> <p>・インクルーシブ教育の職員研修を設ける。</p> |
|                        | <p>B 5 学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>地域住民肯定的回答 90%</p>    | <p>① 年間を通して地域の行事に自主的に参加する機会を設定し、地域と共に支援することで、地域貢献の意識を高める。</p> <p>② 地域行事への参加の様子を収めた写真などを、学校 HP に掲載したりすることで、生徒の達成感を高める。</p>                                                                                                                                   | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 2.4p 数値目標を下回り、達成できなかった。地域住民は 10p 数値目標を上回り、達成できた。</p> <p>・昨年度よりも地域でのボランティア活動の機会が増えた。</p>                                                                                                                                                                   |

|                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                              | <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事やボランティア活動への参加を継続して促す。</li> <li>・活動の様子を積極的に発信する。</li> </ul>                                                                                                                                                     |
| <p>B6 学校や地域は、定期的に登校指導や下校指導を行い、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図り、「地域に愛される旭っ子」の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 85%<br/>教職員肯定的回答 90%<br/>保護者肯定的回答 85%<br/>地域住民肯定的回答 90%</p> | <p>① 保護者・教職員・生徒・地域が一体となって行う PTSC あいさつ運動を計画的に行い、教職員で連携を取りながら下校指導を行う。</p> <p>② 水曜日の一斉下校の際には、交通担当教員を中心に、巡回下校指導に当たり、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図る。一斉下校の際には、週ごとに学年の教諭が校門近くに立哨し下校時のマナーの啓蒙活動を行う。</p> | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 5.7p, 教職員 4.9p, 保護者 1.5p, 地域住 10p, それぞれ数値目標を上回り、達成できた。</p> <p>・取組により、自発的なあいさつの浸透、交通マナーの意識向上をはかることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も現在の方針を継続するが、生徒の登下校マナーについて年度当初に全体で共通で理解する取り組みを行う。</li> </ul>                     |
| <p>B7 学校や家庭は、生徒が主体的によりよい生活習慣を確立し、心身ともにたくましく、規則正しい生活習慣を身につけられるよう支援している。</p> <p>【数値目標】</p> <p>生徒肯定的回答 85%<br/>保護者肯定的回答 85%<br/>教職員肯定的回答 90%</p>                                | <p>①学校行事や専門委員会、各教科を通して、よりよい生活習慣を身につけさせるような活動を行う。</p> <p>②保健だより、食育だより、生徒指導だより、図書館だより、各種だよりを活用し、家庭や生徒への情報発信を行うとともに啓発を図る。</p>                                                                   | <p>【達成状況】</p> <p>・生徒 10p, 教職員 4.9p, 保護者 5.6p, それぞれ数値目標を上回り、達成できた。</p> <p>・生活の振り返りを継続的に実施している生徒の姿がうかがえた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の「立腰」を促す声をかける。</li> <li>・良い生活習慣の確立のためには、教科横断的に指導。</li> <li>・年2回の生活習慣に関するアンケートを実施し評価・改善する。</li> </ul> |

### 【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所に下線を付ける。

R6 と R7 との増減の比較から、増減の似た項目をまとめ、考察する。

1 生徒回答から

【高くなった項目から】⇒ 地域連携の成果と生徒教職員間の良好な関係性

A18：学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。+4.51p

A7：生徒は、宇都宮の良さを知っている。+3.05 p

A14：教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。+2.71p

B4：教職員は、生徒同士が互いに認め合える環境作りをしている。+2.50p

A6：生徒は、英語の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。+2.34p

A13：教職員は、生徒の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、生徒が明るくいきいきと学校生活を送れるようにしている。+2.09p

⇒昨年度 R6 の生徒回答は、R5 と較べて全体的に低下傾向にあったが、本年度 R7 は R6 と比較して 22 項目中 16 項目で向上に転じた。特に上記の A18 は、2 年生の宮っ子チャレンジの実施後のアンケート調査であったことや PTA や企業の協力で実現できた“南極クラス”のインパクトが結果につながったと思われる。

A7 は、総合的な学習において実施している「宇都宮学」の成果と宇都宮市が LRT の開通などマスコミやテレビ等で取り上げられることが増え、宇都宮市民である“誇り”が相乗した結果と考えられる。

その他、A14、B4、A6、A13 からは、昨年度と同様に生徒と教職員の良好な関係性が読み取れる。

【下がった項目から】⇒ 自主性への厳しい評価

B3：教職員は、生徒が自主的な学習を進めることができるように、学習の進め方を指導している。-2.02p

B5：学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。-0.99p

B1：生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。-0.48p

A5：生徒は、互いの良さを生かしながら進んで意見を発表したり協力したりして集団での課題を解決している。-0.37p  
⇒B1とB5は、共通して質問項目文中に「自主的」とあり、生徒一人一人が自らを振り返った際の反省などが読み取れる。一方でB1とA5は、同様にどちらにも「私（生徒）は、」で始まる項目であり、前述と同様に、自分自身には厳しい評価をしている。特にB1の「あいさつ」については、教職員が+12.24p、また市平均より+2.94p高く、相反する結果からも、自己評価が厳しい本校生徒の様子がうかがえる。

## 2 保護者回答から

【高くなった項目から】⇒ 学校・生徒の様々な取組のプラス成果

A7：生徒は、宇都宮の良さを知っている。+7.59p

A17：学校は、児童生徒や教職員の交流、小中一貫教育カリキュラムの作成・見直しなど、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。+7.13p

B5：学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。+5.45p

⇒上記の3項目からは、生徒回答にも共通するが、日常的な学校での取組の評価と考えられる。特にB5については、地域にボランティアとして中学生が参加して活躍していることが、多方面から称賛されていることも理由と考えられる。

【下がった項目から】⇒ 生徒の学習への取組や様々な課題解決への不安

A1：生徒は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、粘り強く学習に取り組んでいる。-6.9p

A13：教職員は、生徒の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、生徒が明るくいいきと学校生活を送れるようにしている。-2.7p

⇒上記2項目からは、子どもの学校での学習への取組の様子や友達関係などの様々な問題について心配している様子がうかがえる。特にA1については、ICTの活用により、これまで以上に授業の中でクラスメイトと相談したり、協同したりする機会は増えているが、その成果について発信する必要性があると言える。

## 3 全体として

生徒回答からは、地域連携の成果と生徒教職員間の良好な関係性がうかがえた一方で、自主性への厳しい評価がうかがえた。市との比較においては、『A8：児童生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している』が、+5.0pと引き続き本校の強みと言える。

保護者回答からは、学校・生徒の様々な取組のプラス成果がうかがえた一方で、生徒の学習への取組や様々な課題解決への不安がうかがえた。同様に、市との比較においては、『A7：児童生徒は、宇都宮の良さを知っている』が、+7.01pととても大きく上回り、宇都宮学の浸透・生徒がうかがえる。『A18：学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている』も+3.29と、土曜授業の評価ではないかと考えられる。一方で、前述の『A1：生徒は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、粘り強く学習に取り組んでいる』は、市よりも-3.61p低く、課題としてとらえ対応を考えていくことにする。

## 7 学校関係者評価

- ・アンケートの結果の報告や考察で述べられていたように、全体としては昨年に引き続き、生徒と教職員の良好な関係性がうかがえた。先生方の日頃の取組の成果が表れていると思う。
- ・昨年度と比べ、全体的にポイントが高くなっている点についても、先生方のお陰だと思う。
- ・授業参観をとおして、「生徒間で意見交換や教え合い」、「ICT機器の活用」などにとっても好感を持った。とにかく、落ち着いて授業を受けていることに感銘を受けた。この調子で、学力も市の上位を目指してほしい。
- ・地域未来会議においては、今年は参加生徒が増えての実施となったが、参加された生徒の準備や態度が素晴らしかった。災害発生前後に、中学生はもとより、我々大人がすべきことがたくさんあることに気づかされた。災害発生前後に、中学生との協働の重要性を改めて認識できた。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所の下線を付ける。

- ・今年も体育祭などの学校行事や授業参観等、保護者や地域の方に生徒の活動の様子や活気のある学校の状況を見ていただくことができた。
- ・生徒会が平成元年に策定した「生徒の誓い」をあらためてクローズアップしたことにより、生徒も意識を深め、学校行事や生徒会活動に意欲的に活動している様子が随所でうかがえた。次年度は、本年度に引き続き、これらの取組のすばら

しさをしっかり生徒にフィードバックできるよう教職員が共通理解して工夫していくと共に、生徒の主体的な活動を更に推進し、生徒の活躍の場を創出できるよう努めていく。

・生徒の自分たちの『自主性への厳しい評価』については、特に学習面では向上の傾向が見られるものの、「まだまだ自分達はできる」という気持ちを持っている生徒がたくさんいるのではないかと考えられる。このことから、生徒等のやる気を更に様々な場面で発揮できるように、場の設定や教職員による働き掛けを工夫していきたい。特に自主学习については、生徒のやる気に添える形を模索していく。

・本校の特色の一つであるボランティア活動の推進については、引き続き生徒へ積極的に参加を促すことができた。ボランティアに興味・関心の高い生徒も多く、年間を通じて約 580 名が参加したことにより、(全校生徒 530 名のため)「生徒一人一ボランティア」を達成することができた。今後も地域との連携を深め、活動が継続できるよう進めていきたい。

・ICT の活用 (A8, A20) については、引き続きに効果的な活動が実践され活用の幅も広がっており、アンケート結果からも市の平均を大きく上回り、本校の強みと言える。今後も、情報活用能力の向上を図りながら適切な活用方法について指導を継続していきたい。また、ICT 機器の活用と同時に図書の利用についても推進していきたい。

・学校の業務の効率化 (A16) について、本校は教職員の回答が昨年度よりも 9.5p と大きく向上したが、市よりは 2.5p 低く、まだまだ改善が必要と言える。ICT を活用した業務への移行やさくら連絡網を活用したペーパーレス化、そしてアンケートをGoogleフォームでの実施に切り替えるなど、更に工夫が広がっており、職員全体に業務改善の意識の高揚が見られている。引き続き業務改善に向けたさらなる工夫・改善に取り組んでいきたい。

○「A18: 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」については、生徒・保護者ともに土曜授業で地域の方がコーディネートして下さった「南極クラス」がとても好評だったことが、アンケート結果からもうかがえた。また、「B7:地域に愛される旭っ子」の育成に関する項目についても、昨年度と同様に生徒・教職員共に高い値を示している。引き続き、家庭と地域とのつながりを大切にするとともに、小学校との連携も深めていきたい。